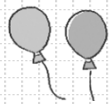


## 第5期京田辺市地域福祉計画策定のための



# アンケート調査ご協力のお願い



皆様には、市の福祉行政に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

京田辺市では、令和3年に「第4期京田辺市地域福祉計画」を策定し、市民、関係機関、団体と行政が連携し、「お互いさんの心と絆ではぐくむ心豊かなまち 京田辺」をめざしてまいりました。令和8年度に本計画は最終年を迎えることから、今後さらに安心して暮らせるまちづくりをめざして、「第5期京田辺市地域福祉計画」の策定を進めています。

このアンケートは、皆様の福祉に対する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画を策定する基礎資料として活用するために実施するものです。ご回答いただく方は、市内にお住まいの18歳以上の3,000人を無作為に抽出しています。

調査結果は無記名で、お答えはすべて統計的に処理するため、個人情報漏れるなどのご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年 9月

京田辺市

### ＜ご記入についてのお願い＞

- ① 調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
- ② ご記入は、ご本人にお願いします。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方等がご本人の考えをお聞きのうえ、またはご意向に沿ったかたちで、代理でご記入をお願いいたします。
- ③ お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- ④ 調査結果は統計的に処理します。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありませんので、ありのままにご回答願います。
- ⑤ インターネットによるご回答につきましては、右下の二次元バーコードを読み取るか以下のURLにアクセスし、回答ページからご回答をお願いします。

回答の際には、右上に記載のある〈ID〉を入力し、回答をはじめてください。

WEB回答ページURL [https://qustant.jp/q/tiikifukushi\\_kyotanabe](https://qustant.jp/q/tiikifukushi_kyotanabe)

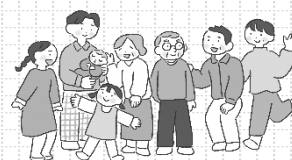
- ⑥ ご記入いただいた調査票は、〇月〇日（〇）までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくお願いします。



京田辺市 健康福祉部 社会福祉課

電話：0774-63-1127 FAX：0774-63-5777

（月～金曜日の8時30分から17時15分まで。土・日・祝日は除く。）





## あなたご自身のことについておうかがいします。

Q

### 1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- |      |      |          |
|------|------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない |
|------|------|----------|

Q

### 2 あなたの年齢は何歳ですか。(1つに○)

- |           |         |          |
|-----------|---------|----------|
| 1 18・19 歳 | 4 40 歳代 | 7 70 歳代  |
| 2 20 歳代   | 5 50 歳代 | 8 80 歳代  |
| 3 30 歳代   | 6 60 歳代 | 9 90 歳以上 |

Q

### 3 あなたの主な職業は何ですか。(1つに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 農林漁業           | 6 パート・アルバイト   |
| 2 自営業及びその家族従事者   | 7 学生          |
| 3 自営業（開業医・弁護士など） | 8 家事専業（主婦・主夫） |
| 4 会社員・団体職員など     | 9 無職（求職中を含む）  |
| 5 公務員・教員など       | 10 その他（具体的に ） |

Q

### 4 あなたのお住まいの小学校区はどこですか。(1つに○)

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 1 松井ヶ丘 | 4 薪   | 7 草内  |
| 2 大住   | 5 田辺  | 8 三山木 |
| 3 桃園   | 6 田辺東 | 9 普賢寺 |

Q

### 5 あなたが京田辺市にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)

- |            |             |          |
|------------|-------------|----------|
| 1 5年未満     | 3 10～20 年未満 | 5 30 年以上 |
| 2 5～10 年未満 | 4 20～30 年未満 |          |



## あなたのお住まいと地域についておうかがいします。

Q

6 あなたと一緒に住まいの方は、次のうちどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |                |    |                   |
|---|----------------|----|-------------------|
| 1 | あなただけのひとり暮らし   | 6  | 配偶者の親(しゅうと・しゅうとめ) |
| 2 | 配偶者(夫・妻)       | 7  | 兄弟・姉妹             |
| 3 | 親(父親・母親)       | 8  | 祖父母               |
| 4 | 子ども            | 9  | 孫                 |
| 5 | 子どもの配偶者(むこ・よめ) | 10 | その他(具体的に )        |

Q

7 あなたのお住まいの形態は、次のうちどれですか。(1つに○)

- |   |                      |    |                 |
|---|----------------------|----|-----------------|
| 1 | 持ち家(一戸建て)            | 6  | 給与住宅(社宅・寮・官舎など) |
| 2 | 持ち家(分譲マンション)         | 7  | ケアハウス、有料老人ホームなど |
| 3 | 民間賃貸住宅(一戸建て)         | 8  | 下宿、間借り、同居       |
| 4 | 民間賃貸住宅(マンション、アパートなど) | 9  | シェアハウス          |
| 5 | 公営住宅(府営・市営住宅)        | 10 | その他(具体的に )      |

△

Q

8 あなたは、住まいの地域に暮らしやすさを感じていますか。(1つに○)

- |   |               |   |               |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | 暮らしやすい        | 3 | どちらかという暮らしにくい |
| 2 | どちらかという暮らしやすい | 4 | 暮らしにくい        |

Q

9 あなたにとって「自分のまち」とはどの範囲のことをいいますか。(1つに○)

- |   |                         |   |            |
|---|-------------------------|---|------------|
| 1 | 自分の家のまわりの地域(町丁目や昔の小字単位) | 4 | 京田辺市全域     |
| 2 | 区・自治会単位の地域              | 5 | その他(具体的に ) |
| 3 | 小学校の学区域くらい              | 6 | わからない      |

Q

10 あなたはご近所とどのようなつきあいをされていますか。(1つに○)

- 1 困っているとき(病気や悩み、事故など)に相談したり、助け合ったりするなど、親しくつきあいしているお宅がある
- 2 区・自治会や隣近所の行事の時だけつきあう
- 3 たまに立ち話をする程度
- 4 会えばあいさつをする程度
- 5 つきあいがほとんどない

◎ **Q** 11 あなたは、現在のご近所とおつきあいに満足していますか。(1つに○)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 満足している   | 3 あまり満足していない |
| 2 ほぼ満足している | 4 満足していない    |

◎ **Q** あなたの住まいの地域では、地域の人々がお互いに支え合い、助け合っていると感じますか。(1つに○)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 とても感じている | 3 あまり感じていない  |
| 2 少し感じている  | 4 まったく感じていない |

◎ **Q** あなたは、市民による自主的な助け合い、支え合いの関係が必要だと思いますか。  
13 (1つに○)

- |             |               |         |
|-------------|---------------|---------|
| 1 とても必要だと思う | 3 あまり必要だと思わない | 5 わからない |
| 2 必要だと思う    | 4 必要だと思わない    |         |

◎ **Q** あなたが住んでいる地域では、どのような課題・問題があると感じていますか。  
14 (あてはまるものすべてに○)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1 隣近所での付き合いや交流が少ない      | 9 移動手段が少ない             |
| 2 地域活動が活発でない            | 10 道路や歩道が整備されていない      |
| 3 地域活動の担い手が不足している       | 11 子ども・大人のいじめ問題        |
| 4 地域での情報共有ができていない       | 12 生活マナーが悪い(ゴミ、騒音問題 等) |
| 5 世代間交流が少ない(若者と高齢者 等)   | 13 犯罪が増加している           |
| 6 高齢者や障がい者への支援(買い物代行 等) | 14 災害時の避難体制が整っていない     |
| 7 子育て世帯への支援(一時預かり保育 等)  | 15 その他( )              |
| 8 ひとり暮らし世帯への支援(見守り 等)   | 16 特にない                |

△ **Q** 15 あなたは、地域での人とかかわりに対してどのように考えますか。(1つに○)

- 1 心から打ち解けられる関係を築きたい
- 2 隣近所を中心とした助け合いやつきあいを大切にしたい
- 3 住民同士が協力して地域をよくする活動に参加していきたい
- 4 時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域とかかわる方がよい
- 5 自分の生活や時間を大切にしたいので、地域的なかかわりを持ちたくない
- 6 隣近所の協力を期待せずに、自分のことは自分でする
- 7 その他(具体的に )



あなたの日常の困りごとについておうかがいします。

△ **Q** 16 あなたは、日頃、どのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで○)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1 自分の健康や病気                 | 7 職場での人間関係    |
| 2 家族の健康や病気                 | 8 学校での人間関係    |
| 3 自分や家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など) | 9 経済的なこと      |
| 4 子育て                      | 10 その他(具体的に ) |
| 5 介護                       | 11 特にない       |
| 6 近所との人間関係                 |               |

悩みや不安があったとき、誰(どこ)に相談していますか。

**Q** 17 (あてはまるものすべてに○)

- |          |              |                  |
|----------|--------------|------------------|
| 1 家族     | 7 保育所や幼稚園の職員 | 13 福祉施設や福祉事務所の職員 |
| 2 親類     | 8 市の相談窓口や職員  | 14 在宅介護センター      |
| 3 近所の人   | 9 病院や薬局      | 15 その他           |
| 4 友人・知人  | 10 区・自治会     | [ 具体的に ]         |
| 5 職場の人   | 11 民生委員・児童委員 |                  |
| 6 学校の教職員 | 12 社会福祉協議会   | 16 相談できる人がいない    |



あなたは健康や福祉について、どんな情報を知りたいですか。  
18 (あてはまるものすべてに○)

- 1 健康づくりについて
- 2 子育てについて
- 3 高齢者や障がい者について
- 4 健康や福祉サービスの利用方法
- 5 介護保険や介護サービスの利用方法
- 6 介護保険や福祉などサービス提供事業者のサービス内容
- 7 ボランティア活動や NPO などの住民活動について
- 8 健康づくり・生きがいづくりの学習機会（講座や教室など）について
- 9 高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器について
- 10 その他（具体的に \_\_\_\_\_）



健康や福祉についての情報を得るうえで、役立っていると思われるものは何ですか。  
19 (あてはまるものすべてに○)

- |                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 市の広報「ほっと京たなべ」                  | 8 病院などの医療機関        |
| 2 市のホームページ                       | 9 新聞               |
| 3 市の SNS (X【旧 Twitter】・Facebook) | 10 テレビやラジオ         |
| 4 市のパンフレットや冊子など                  | 11 市販されている書籍や雑誌    |
| 5 区・自治会や民生委員・児童委員など              | 12 家族や友人・知人        |
| 6 社会福祉協議会                        | 13 インターネット         |
| 7 回覧板やまちかどの掲示板                   | 14 その他（具体的に _____） |



あなたは京田辺市の健康や福祉についての情報提供の方法において、もっと充実すべきだと思うものは何ですか。（3つまで○）  
20

- |                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| 1 市の広報「ほっと京たなべ」                  | 7 回覧板やまちかどの掲示板     |
| 2 市のホームページ                       | 8 病院などの医療機関        |
| 3 市の SNS (X【旧 Twitter】・Facebook) | 9 新聞               |
| 4 市のパンフレットや冊子など                  | 10 インターネット         |
| 5 区・自治会や民生委員・児童委員など              | 11 その他（具体的に _____） |
| 6 社会福祉協議会                        |                    |



あなたは、子育てや高齢者、障がい者に関するサービスを安心して利用できるように  
21 するため、どのようなことを充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

- 1 福祉サービスを適切に選んで利用できるように支援する相談窓口
- 2 福祉サービスにかかわる人権侵害や苦情について、安心して気軽に相談できる窓口
- 3 福祉サービスの利用者が自分の人権を守る知識を身につける学習機会
- 4 福祉サービス提供者の人権意識を高める研修や啓発
- 5 福祉サービス提供者の質の向上を図る研修や啓発
- 6 悪質な事業者を排除する仕組み
- 7 金銭関係のトラブルについて、利用者を支援する仕組み
- 8 福祉サービス利用者の人権を守るための法律や制度
- 9 その他(具体的に )
- 10 わからない



隣近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。  
22 (あてはまるものすべてに○)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭 | 7 外国人の家庭              |
| 2 介護を要する人がいる家庭        | 8 日中に家族が不在になりひとりになる家庭 |
| 3 障がいのある人がいる家庭        | 9 ヤングケアラーの家庭          |
| 4 小さな子どもがいる家庭         | 10 その他(具体的に )         |
| 5 ひきこもりや不登校の子どもがいる家庭  | 11 特にいない              |
| 6 ひとり親の家庭             | 12 わからない              |



Q22 に記載されている家庭のことで相談するとしたらどこへつなぎますか。  
23 (あてはまるものすべてに○)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 直接自分で相談にのる     | 6 項目以外のところに相談する   |
| 2 民生委員に相談する      | 7 どこに相談していいかわからない |
| 3 市役所など行政機関に相談する | 8 その他(具体的に )      |
| 4 民間の支援団体などに相談する | 9 なにもしない          |
| 5 社会福祉協議会に相談する   |                   |





### ヤングケアラー

ヤングケアラーとは、家族の介護や日常生活の世話を過度に行っていると認められる子どもや若者のことです。具体的には、家事や家族の世話、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもを指します。

Q

地域で、高齢者や障がい者、子育てのことなどで悩んだり困っている世帯があったら、  
24 あなたができることは何ですか。(3つまで○)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 安否確認の声かけ      | 5 話し相手        |
| 2 ちょっとした買い物     | 6 短時間の子どもの預かり |
| 3 玄関前の掃除や植木の水やり | 7 子育ての相談      |
| 4 ごみ出し          | 8 その他(具体的に )  |

△

Q

地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題は、次のうちどれだと思いますか。(3つまで○)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1 地域住民同士の交流・接点づくり | 6 青少年の健全育成の取り組み      |
| 2 高齢者のみの世帯への支援    | 7 犯罪防止の取り組み          |
| 3 子育てで悩んでいる家庭への支援 | 8 火災予防や災害時の避難などの取り組み |
| 4 障がい者への支援        | 9 その他(具体的に )         |
| 5 健康づくりへの取り組み     |                      |

△

Q

地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

- 1 学校教育や社会教育の場での福祉教育を充実
- 2 福祉活動に携わる人やリーダーの養成
- 3 地域における温かな人間関係(信頼関係)を築く
- 4 プライバシーや人権を尊重する理解を広める
- 5 介護やボランティア活動の方法などに関する研修
- 6 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場の整備
- 7 困っている人や助け合いの場、組織についての情報を得やすくする
- 8 地域における福祉活動の意義と重要性についてもっとPRする
- 9 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の資質向上
- 10 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助
- 11 その他(具体的に )





## あなたの地域活動についておうかがいします。

お住まいの地域で行われている、次のような地域活動の中で、あなたがここ1～2年の間に参加したのがありますか。①～⑩のそれぞれの活動ごとにあてはまるものを

**Q**

27 選んでください。(それぞれ1つに○)

活 動 内 容	よく参加している	時々参加している	参加していない
①区・自治会などの活動	1	2	3
②子育てを手助けするボランティア活動	1	2	3
③子ども会や少年スポーツチームの指導や非行防止など青少年関係の活動	1	2	3
④高齢者や障がい者の日常生活を手助けするボランティア活動	1	2	3
⑤防災や防犯、交通安全のための活動	1	2	3
⑥スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3
⑦趣味の講習会や文化・教養活動	1	2	3
⑧地域の歴史の研究や伝統芸能などを保存する活動	1	2	3
⑨道路や公園の草取り、リサイクル運動などの環境関係の活動	1	2	3
⑩健康づくりの支援や食生活の改善などの活動	1	2	3

Q27 ですべての項目に「3」を選んだ方におうかがいします。

**Q**

28 その理由は何ですか。(1つに○)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 仕事や家事で忙しい         | 5 一緒に参加してくれる人がいない |
| 2 体が弱い、病気がちな健康面のため  | 6 興味がない           |
| 3 病人や高齢者、子どもなど家族の世話 | 7 その他(具体的に )      |
| 4 どこで活動しているかわからない   |                   |

Q

29 あなたは京田辺市内で活動しているボランティア団体やグループに、所属したり活動したことはありますか。(1つに○)

- 1 現在、所属して活動している
- 2 所属していないがたまに活動に参加している
- 3 現在はしていないが以前活動したことがある
- 4 京田辺市外の団体やグループで活動している・したことがある
- 5 参加したことがない    ⇒ Q31 へ

Q

Q29で「1.」～「4.」のいずれかを選んだ方におうかがいします。

30 どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 子育て支援               | 6 環境美化、リサイクルなど環境関係    |
| 2 高齢者の支援              | 7 健康づくりの支援            |
| 3 障がい者の支援             | 8 防犯や防災、その他地域の安全を守る活動 |
| 4 外国人の支援              | 9 その他(具体的に )          |
| 5 文化・教養・スポーツなど生涯学習の支援 |                       |

Q

31 あなたはボランティア活動についてどのように思っていますか。(1つに○)

- 1 地域において助け合いや支え合い、交流などを深めるためにも必要
- 2 気持ちはあるが忙しいので参加できない
- 3 活動をしたいが内容や参加方法がわからない
- 4 そのような活動は本来行政が行うべき
- 5 ボランティア活動はしたくない
- 6 その他(具体的に )

Q

あなたは、どのような要件が整えば地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 特に要件はなく参加したい
- 2 自分にあった時間と内容の活動であること
- 3 自分の仕事や特技を生かせること
- 4 交通費や経費が支給されること
- 5 活動の情報や相談窓口がわかりやすいこと
- 6 家族や友人と一緒にであること
- 7 近所の人や知人に誘われること
- 8 集団ではなく個人が自分のペースでできること
- 9 インターネットを活用すること
- 10 その他( )



地域福祉にかかわる機関や団体についておうかがいします。

Q

「小地域福祉活動」で、あなたが知っているものを選んでください。  
33 (知っているものすべてに○)

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1 懇談会                     | 8 高齢者向け無料給食サービス        |
| 2 学習会・研修会(例:認知症サポーター養成講座) | 9 食事準備が困難な方向けの有料配食サービス |
| 3 高齢者の交流会                 | 10 介護予防事業(おたっしや応援事業)   |
| 4 障がい者のつどい                | 11 ふれあいテレフォンサービス事業     |
| 5 見守り(例:電話による安否確認・友愛訪問)   | 12 その他                 |
| 6 移動が不自由な人のための送迎事業        | (具体的に )                |
| 7 ふれあいサロン                 | 13 知らない                |



#### 小地域福祉活動

社会福祉協議会では、地域住民(ボランティア)と連携して、援助を必要とする高齢者や障がい者などの地域生活を地域ぐるみで支援する「小地域福祉活動」を行っています。

Q

34 あなたは「小地域福祉活動」に参加したことがありますか。(1つに○)

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことがないが、参加したい
- 3 参加したことがなく、参加するつもりはない

Q

35 あなたは民生委員・児童委員について知っていますか。(1つに○)

- 1 自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員の名前も顔も知っている
- 2 自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員の名前または顔を知っている
- 3 民生委員・児童委員については知っているが、自分が住んでいる地域を担当している民生委員・児童委員は知らない
- 4 民生委員・児童委員という言葉は聞いたことがあるが内容は知らない ⇒ Q37へ
- 5 民生委員・児童委員については聞いたことがない ⇒ Q37へ

**民生委員・児童委員**

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域の子どもや高齢者などの見守りを行ったり、ちょっとした悩みごとを聞いたり、行政などの関係機関へつないだりする、地域の身近な相談相手です。

Q35で「1.」～「3.」のいずれかを選んだ方におうかがいします。

Q

36 民生委員・児童委員に相談したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分のことを相談したことがある
- 2 家族や友人・知人などのことを相談したことがある
- 3 友人・知人や近所の方が自分のことを相談したことがある
- 4 相談しようと思ったが、相談していない
- 5 相談したことはない



## 地域福祉に関連する制度についておうかがいします。

Q

あなたは、市の生活困窮者自立支援事業について次のようなことを知っていますか。  
37 (あてはまるものすべてに○)

- 1 市役所にワンストップ型の相談窓口「仕事とくらしの相談室 ぷらす」を設置している
- 2 家計の見直しについて相談でき、助言を受けることができる
- 3 早期就労に向け、ハローワークと連携した就労支援を受けることができる
- 4 離職などで住居を失うおそれがある場合、期限付きで家賃相当額の支給を受けることができる
- 5 困窮により住居を失った場合、期限付きで宿泊場所や衣食の提供を受けることができる
- 6 生活困窮世帯の子どもを対象に、学習の場（無料の塾）を提供している
- 7 知っていることはない



### 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者の自立支援策の強化を図るための制度であり、自立支援に向けた相談、住居の確保支援、就労支援、生活支援、学習支援等が実施されています。

Q

あなたはひきこもりに関する相談窓口（「仕事とくらしの相談室ぷらす」「ふれあい相談室」）について知っていますか。（1つに○）

- 1 はい
- 2 いいえ

△

Q

39 ひきこもりの方が必要とする支援は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 相談（面談や電話等を含む）
- 2 フリースペース等の居場所
- 3 友達のような話し相手
- 4 家庭訪問のサービス
- 5 就労支援
- 6 市民や企業に対する理解の啓発
- 7 家族や親の会
- 8 働く場所
- 9 その他（具体的に ）



### ひきこもり

ひきこもりとは「様々な要因によって社会的な参加の場面が狭まり、就労や就学等の自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態」をさします。本人の「元気」や「自信」がない状態であり、「甘え」や「怠け」では決してありません。また、様々な要因が重なっているケースが多いため、誰かに責任を押し付けることは適切ではありません。

Q

あなたは、成年後見制度について次のようなことを知っていますか。

40 (あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症や障がい等で判断能力が十分でない人が利用できる
- 2 本人の判断能力に応じて「後見」「補佐」「補助」の3つの類型がある
- 3 成年後見人等は、財産管理やサービスの契約等の法律行為を支援する
- 4 将来に備えてあらかじめ後見人を選んでおく「任意後見制度」がある
- 5 成年後見人等には、市区町村等が実施する養成研修を受講した一般市民になることができる
- 6 成年後見制度について相談を受け付ける窓口がある
- 7 成年後見人等の申立て費用や成年後見人等への報酬を助成する制度がある
- 8 成年後見制度は聞いたことがあったが、この中に知っていることはない
- 9 成年後見制度自体を知らない

**成年後見制度**

精神上の障がい(知的障がい、精神障がい、認知症 等)により判断能力が十分でない人が不利益を被らないように、家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度です。

△

Q

あなた自身や親族が、認知症等により判断が十分にできなくなったときに、成年後見

41 制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1 将来に備えて後見人を選んでおきたい | 3 利用したいと思わない |
| 2 必要になれば利用したい       | 4 今はわからない    |

Q

42 あなたは、「避難行動要支援者登録制度」について、知っていますか。(1つに○)

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1 制度名も内容も知っている      | 3 知らない |
| 2 制度名は知っていたが内容は知らない |        |

**避難行動要支援者登録制度**

ひとり暮らしの高齢者や障がい者など、災害時の避難に支援が必要な方が登録することにより、大規模災害時には、地域の皆さんで避難を支援する取り組みです。





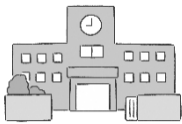
あなたは、「避難行動要支援者」から、その人の「避難支援者」として登録を依頼された場合、どのように対応しますか。(1つに○)

- |                             |            |   |
|-----------------------------|------------|---|
| 1 登録を引き受ける                  | 4 その他（具体的に | ) |
| 2 登録を引き受けることはむずかしい          | 5 わからない    |   |
| 3 区・自治会や自主防災組織など、地域の組織で対応する |            |   |



京田辺市は障がいがあることや高齢で身体が不自由な場合に、そうした状況に配慮したユニバーサルデザインが普及していると思いますか。(1つに○)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 十分に普及していると思う   | 4 まったく普及していないと思う |
| 2 ある程度、普及していると思う | 5 わからない          |
| 3 あまり普及していないと思う  |                  |



#### ユニバーサルデザイン

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいいます。  
例)多目的トイレ、音響・時間表示付き信号機、センサー付き蛇口など



これからの京田辺市の健康・福祉についておうかがいします。



あなたは、福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。(1つに○)

- |  |   |
|--|---|
| 1 福祉を充実させる責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない      |   |
| 2 行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべき         |   |
| 3 福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべき         |   |
| 4 住民として福祉課題に積極的に取り組み、その活動に対して行政は援助・協力すべき |   |
| 5 その他（具体的に                               | ) |

△ **Q** 今後、京田辺市が健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策として、優先して充実すべきだと思うものは何ですか。(3つまで○)

- 1 身近なところでの相談窓口
- 2 保健福祉に関する情報提供や案内サービス
- 3 高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービス
- 4 健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービス
- 5 健康診断・がん検診などの保健・医療サービス
- 6 住民がお互いに支え合い、助け合える仕組みづくり
- 7 ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援
- 8 自主・自発的な市民福祉活動の活用や支援
- 9 サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応、サービス評価などの取り組み
- 10 福祉教育
- 11 高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備
- 12 その他(具体的に )

●地域福祉に関するご意見、地域福祉を推進するためのアイデア・ご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご意見や  
アイデア



アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

記入漏れがないかご確認のうえ、この冊子を折って同封の返信用封筒に入れ、封をして、

切手を貼らずに、〇月〇日(〇)までに郵便ポストに投函をお願いします。